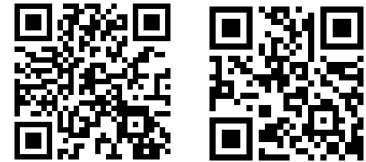


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第226号



2025年8月15日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



**自交総連芙蓉交通支部
古い革袋に新しい酒を！**

今年の春闘は、①越高(ノルマ)月間 46 万円→51 万円への会社案は撤回、②一時金は営業収入向上を背景に議論なく増額、③職場改善はイ)ロッカー、ロ)洗車場、ハ)駐輪場、ニ)車庫照明。ホ)その他の点で前向き話し合い一で決着しました。

新入社員が半数を越え、①組合活動に多数が参加する方向に進めるか、②20 年来同じ顔ぶれの役員の後継者をつくれるか—という重要局面にあります。

職場改善のためのアンケートに回答した 37 人の大多数が新人、「真夏の大宴会」出席 36 人の9割が新人でした。

勤続平均 20 年の人が3分の1、勤続 1~2 年の人が3分の2という9月8日の定期大会を、新しい味と香りの組合づくりの出発点とするんだ。

労働学校に、12名参加！

8/9(土)、文化会館にて、労働学校が始まりました。今年はジェンダー平等がテーマで、初回は長野和範先生による、「女工哀史」でした。横三労連では、図書資料費予算から文庫本を3冊購入しましたので、皆で回し読みをしましょう。

長野先生は、2か月かけで準備され、48枚もの膨大な資料にまとめて下さり、読みにくい内容を分かりやすく解説して頂きました。

富岡製糸工場などでも、民間払い下げ後は、労働条件が悪化しましたが、あまりに非人道的な労働条件に、ただただあきれざるばかり。女工哀史誕生を支えた筆者の妻高井としを氏の物語についても、学ぶ事ができました。

富岡製糸工場などでも、民間払い下げ後は、労働条件が悪化しましたが、あまりに非人道的な労働条件に、ただただあきれざるばかり。女工哀史誕生を支えた筆者の妻高井としを氏の物語についても、学ぶ事ができました。

英空母入港抗議集会に、11名参加！

8/12(火)、英空母プリンスオブウェールズの入港に抗議する集会が、うみかぜ公園で行われ、早朝 6:3 に 11 人が集まりました。隣では平和運動センターが抗議集会を行い、市民連合が、その中間地点で横断幕を広げました。

早朝のうみかぜ公園は、釣り人でいっぱい、会場設定に苦労しました。

